

図書館だより

第38号 平成18年7月10日
高松工業高等専門学校図書館
TEL (087) 869-3813
FAX (087) 869-3948

5000頁読破記？！ —1000頁読破記に寄せて—

一般教育科 国語 坂本 具償



表題を見て、「えっ？今年5000頁？」と思った人、安心してください。「1000頁読破記」のご案内です。またまたその季節がやってきました。来てほしくない人もいるでしょうか。1年生のために説明しますが、「1000頁読破記」とは、本をトータルで1000頁以上読み、1000字（400字詰原稿用紙、2枚半！）以上で読破体験記を書くという図書館主催の企画です。私の記憶が確かならば、今年で16回目となります。そろそろ新しい企画を考えるべきなのかも知れません。

そもそも、「1000頁読破記」は、普段あまり本を読まない人のための企画と言ってもいいのでしょうか。1000という数字には区切りがよいという程度の意味しかなく、それ以外の深い意味はないのです。表題には「5000頁読破記？！」と書きました。この数字なら、普段、本を読んでいる人でもそれなりに重たい数字のように思いますが、どうでしょうか。

昨年1000頁読んだ人は、今年2000頁に挑戦してみませんか。もし2000頁読んだ人がいるなら、その人は3000頁に挑戦してみませんか。「5000頁読破記」と書いたのは、実は今までずっと「1000頁読破記」に挑戦してくれた4年生、5年生の皆さんを意識したものです。進学か就職か。いずれにしても自分自身の内面を鍛え豊かなものにして前進してほしいと思います。読書というのはそのための最良の方法のように思います。橋爪大三郎氏の言葉を借りれば（「文学」の授業を受けた人ならわかるはず）、本という「他人の思考回路」に関心を持ち、「他人の死の痕跡」に触れることによって自分の内面の質を高めていってほしいということです。

社会に出ると、学生時代のような長期休暇はありません。本を読む時間などかなり限られることでしょう。それでもアルバイトで忙しい、卒研でそれどころではない、という声が聞こえてきそうですが……。

なお、読破記の提出締め切りは、9月5日（火）です。書名、著者名、出版社名、頁数を明記の上、国語科へ提出して下さい。あなたの名前も忘れずに。

（さかもと ともつぐ）

◆◆◆ 1000頁読破記応募要領 ◆◆◆

夏休み中の読書体験として、1000頁読破にチャレンジしてみましょう。

- *読破記：1000字以上でまとめる
- *用紙：400字詰め原稿用紙2枚半以上
- *最初に：学年・組・番号・氏名を記入
- *最後に：書名・著者名・出版社名・頁数を記入
- *提出先：国語教員室（長谷川・坂本）
- *提出期限：9月5日（火）

★優秀作品には表彰等があります。

「図書館だより」第39号に掲載する予定です。



図 書 委 員 会 か ら

委員長になって

4年E組 大西 裕司



今年度の図書委員長になりました電気情報工学科4年大西裕司です。図書委員になったのは今年が初めてなので他の人達と協力して図書委員の活動に取り組んでいきたいと思ひます。今年1年よろしくお願ひします。

さてここで図書館のいいところを紹介したいと思ひます。まずは冷暖房が完備されているところです。特に夏のじめじめしているときやテスト期間には快適な環境といえます。次にDVDを閲覧できるところです。さらにそのDVDにはおもしろいものや皆が見てみたいものがたくさんあると思ひます。例えば“ハリーポッターシリーズ”

や“24”等有名なものがあります。快適な環境で映画を見るというのもいいのではないのでしょうか。皆さんも友達等と利用して見て下さい。

次に図書館の本について紹介します。図書館の本といっても参考書から漫画まで数多くの種類があります。あまり堅苦しい本はという人には、漫画等をお勧めします。僕のお勧めは「笑いの文化人講座」です。漫画でも小説でもないのですがおもしろさは保障します。まだこの本は1巻から読まなくても大丈夫なので1巻よりは少し後のものを読むことをお勧めします。またCDも借りることができるのでぜひご利用ください。

次に図書館の企画としてブックハンティングがあります。各クラスに約1万円の予算が与えられ、好きな本を購入できるというものです。何か読んでみたい本があるという人はぜひ参加してください。

(おおにし ゆうじ)

本 等 と の 出 会 い

映画

「グッド・ウィル・ハンティング ～旅立ち～」

機械工学科 岩田 弘



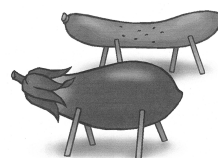
自分では決して体験できない世界すら、本は楽しませてくれます。まだ若かったずっと以前には、ややもすると本の世界にのめり込んでしまい、しばらく戻れない感覚を覚えることすらありました。しかしながら社会人になり、日常の仕事や時間などに追われるようになって以来、そのような余裕がだんだんと無くなり、夢の世界に渴望しているというのが実感でしょう。そんな中で自分を別世界に引き込んでくれる映画は読書と同じ魅力をもつもので、本の20世紀版の形なのかもしれません。

私の特にお気に入りの映画作品はいくつかありますが、そのひとつを紹介したいと思ひます。「グッド・ウィル・ハンティング～旅立ち～」です。この作品は、本当は常に何かを探し求めているのだがそれを見つけられずに荒れた行動をとる青年が、一方でまた、最愛の妻の死という過去の深い悲しみを抱えて、やはり立ちなおれないでいるひとりの精神分析医と出逢い、そのふれあいの中からそ

れぞれの生きる道を見出して行くという作品です。このふれあひも、最初は心の奥底にしまい込んでいた^{しっこく}桎梏と化した部分を互いにえぐり出すような激しいものですが、その過程で互いの理解と自らの解放につながってゆく感動の作品なのです。文才のない私が文章にしてしまえば、単純なヒューマンドラマのようになってしまうのが申し訳ないところです。

最近ではアクション俳優として知られるようになった、当時新星の俳優マット・デイモンと名優ロビン・ウィリアムズ、二人の顔の表情や仕草などの好演がすばらしく、観ている私を、じわじわと、しかも毎回のように映画の中に引き込んでしまうのです。スクリーンの中に引き込まれるCMがよくありますが、まさにその感触を覚えるひとときなのです。もう十回くらいは観たでしょうか、何度観てもふと観たくなる作品のひとつで、皆さんにも是非お勧めしたい作品です。

(いわた ひろし)



漱石との再会

一般教育科 物理 服藤 憲司



昨年他界した父は、私が小学校に入る前から大学在学中にいたるまで、時々まえぶれもなく、全集ものの本を私に買い与えてくれた。とりわけ、偕成社の「ファブル昆虫記」全6巻と岩波の「漱石全集」全17巻は、私に少なからぬ影響を与えた。前者について言えば、小学校時代の私を、完璧なまでの昆虫少年へと誘い、私は早朝から夕暮れ薄暗くなるまで、当時まだ開発の進んでいなかった金沢市近郊の林や山々を駆け巡る日々を送ることとなった。

一方、後者は、別の意味で、なかなか深刻な決断を私に求めた。ずらっとそろった「漱石全集」は、原文に近い文体で書かれ、みるからに雰囲気重たく、敬遠したまま10年近く置きっぱなしになっていた。30歳を過ぎたある日、何の気まぐれかポピュラーな短編がいくつか納まったそのうちの1巻を取り、手始めに「坊ちゃん」を読み始めてみた。改めて読む「坊ちゃん」のすべてに対して、なぜか豊かな至福感を覚えた。ストーリー、文章の抑揚、一つ一つの語彙にいたるまで、心の中の音叉に強く共鳴し振るわせるものがあつた。これをきっかけに、書簡集を含めた漱石のほぼ全作品が納められているというその17巻を、二度三度、涙をぼろぼろ流しながら読んだように記憶している。そのうち、私もこんなすばらしい小説を書けたら良いな、という思いから、絶対に小説家で身を立てるのだと、はかない希望から確固たる意志へと昇華していったのである。当時は、思い込んだらあまり深く考えずにすぐに行動に移す、というフットワークの良さを信条としていた。企業の研究開発に携わっていた私は、会社を辞して、小説家になるために全エネルギーをかけようと思った。しかし、長男であることの責任感と、プータローになると親がいたく悲しむだろう、という理性が同時に強く働き、結局、アフターファイブと土日をフルに生かして、小説家を目指した活動を開始することとなった。目標は、夏目漱石である。

まず、作家は日々何を考えているのか、を知りたくて、何十名かの作家の講演会に足をはこび、耳をそばだてて聞いた。また、谷崎潤一郎から向井敏に至るまで多くの作家が、文章作法を論じている「文章読本」なる表題の本をそれぞれに著しているが、これらは特に丁寧に読んだ。

芥川賞の最終選考にも残ったことのある、という某作家先生のサークルに入り、小説執筆の訓練を開始した。そこは、入会も自由、退会も自由で、

二週間毎に開催され、常に20名程度が参加している。参加者は、短編の作品を仕上げ、それを、このサークル参加者による評価の場にあげる。参加者は事前にこれをしっかり読んで、コメントをきっちり整理しておく。俎上の原稿は、たっぷり1時間ほどをかけ、ストーリー構成や登場人物の設定といった根幹の部分から、語句の用法、段落のスタイル、句読点の使い方といった枝葉末節に至るまで、容赦のない批評にさらされる。議論が尽くされた後に、くだんの先生が、より高い見地から批評の切り込みを入れる。

とにかく、小説を書いて議論してもらわないことにはどうしようもない。小説を読むことと書くことのギャップの大きさにたじろぎ苦しみながらも、ワードプロセッサのキーを必死にたたいて作品を作り上げていった。参加者は皆真剣であった。子育てを終えたと思われる50半ば過ぎのご婦人が3人程いて、相当のボリュームの原稿を毎回のように出してくる。その創作パワーに圧倒されると同時に、いつのまにかそのご婦人方の作品がとても気に入リファンになってしまった。聞くと、文学賞の2次選考に残ったことも一度ならずあるという。一方、どうも私の感覚に合わない作品を出してくる人も多かった。どうしてこんなテーマを取り上げるのか、どうしてこんな癖のある文章を書くのか、といふかった。それも、くだんの先生から見ると、けっして他人の真似事ではないオリジナリティのある作品であり、独自の作風を築きあげている、と評価が高かった。小説は多様なんだ、と改めてさとした。

しばらく、このような修行を続けていたが、そのうち世の中の景気がだんだんと悪くなり、会社の本来業務に対するきびしい要請が、アフターファイブはもとより土日にも及ぶようになってきた。小説修行の時間はみるみる侵食され、気がついてみれば、研究開発業務に深く浸かっていた。

後年、当時より幾分か思慮深くなった私は、あのときの、やや無鉄砲な小説に対する情熱は何だったのだろう、と回顧することがある。もとより、和漢洋の素養に格段のレベル差がある夏目漱石を目指すなど笑止千万だとあきれたり、いやいや、あの若々しい情熱こそ、これからの人生においても、常に持ち続けることが大切なのだ、と思い直したりしている。ただ、文章の美質論に心を奪われ、何をうったえ表現したいかが、やや希薄だったかなあ、とは反省している。これは余談であるが、私が高松高専の教員として今年から赴任したのは、

「吾輩は猫である」に出てくる「^{くしゃみ}苦沙弥先生」の姿にあこがれて、という面が多分にはある。

(はらふじ けんじ)

『日本を滅ぼす教育論議』

岡本薫著 (講談社現代新書)

著者は昨年まで文部科学省課長。「臨時教育審議会」から「ゆとり教育」、「その後の見直し」、「愛国心」。教育論議混迷の根源はどこにあるのか？日本に何が欠けているのか？解答が見つかるかどうかは別にして、教職員は一読した方が…。被害を被らない為にも、学生も一読すべきか？

制御情報工学科教員 山内 庄司

『銀の匙』

中勤助著 (岩波書店)

大学時代、私の恩師に紹介して頂いた大切な思い出の図書である『銀の匙』は私の生涯出会える本の中で最高のものだと思っている。著者の少年期(幼年期)の日々の物語を描いているのが『銀の匙』(前編)である。心温まるものに囲まれた時間の描写が、とてもゆっくりと穏やかに紡がれている。

電気情報工学科教員 榎本 崇宏

『日本はなぜ旅客機をつくれぬのか』

前間孝則著 (草思社)

戦後60年が経過したが、日本航空機産業の実態はどうだろう。自動車、電気製品などの多くの分野で、日本企業の世界的活躍が目立つ。製品価格が高く、産業の裾野が広い労働集約的な航空機産業は、我国にとっては是非とも必要である。なぜ、日本の航空機産業が発展しないのか、問題点を痛烈に指摘している。

制御情報工学科教員 吹田 義一

『まがいモンたちの終焉』

落合信彦著 (青春出版社)

世の中にはなんと「まがいモン」の多いことか。皆さんだまされていませんか。本書は生きていく上で大切なことを教えてくれます。自分自身が価値ある人間になるために、自分の人生に対する投資の仕方を読み取ってほしい一冊。生き方に迷っている人は必読です。

機械工学科教員 吉永 慎一

『ディープインパクト 無敗の三冠馬の真実』

島田明宏著 (廣済堂出版)

無敗三冠馬ディープインパクト、競馬を知らない人でも1度は聞いたことがある名前だと思います。そのディープインパクトの強さの秘密とは？史上2頭目の無敗の三冠馬の真実に迫る。競馬に興味のない人にもお薦めできる1冊です。

1年2組 三井 翔悟

『学生実験のためのデータ解析入門』

ルイ・ライオンズ著 (開成出版)

少し古い本ですが、初学者にもわかりやすく書かれた良書です。厳密な証明や難しい理屈ではなく、何が大切か、なぜそのように取り扱うのかといった点が要領よく書かれています。今春この本を書店で見つけ、目から鱗が落ちたような気がしました…。

制御情報工学科教員 平岡 延章

『空の境界 the Garden of sinners 上・下』

奈須きのこ著 (講談社)

モノの死を視ることのできる「直死の魔眼」を持つ少女・両儀式。モノを歪曲させる少女、人の死を蒐集する螺旋建築、統一言語を操る魔術師。式は、不確かな生に実感を得るため、戦っていく。そして、再来する殺人鬼。明かされる3年前の連続殺人の真相。式の忘れられていた記憶が蘇る。

5年C組 大前 貴紀

『ストラクチュア・システム』

Heino Engel著 JSCA関西翻訳グループ訳 (技報堂出版)

建築空間造形の教育教材として基本的な力の釣り合いからはじめて、ありとあらゆる大建築空間や曲げ構造の構成の仕方と、その中の力の流れや大きさまでを見事に図のみで表現してみせたのが本書です。また、基本的な問題をかえってわかりにくくしている細部の解説を省いた前例になる本。

建設環境工学科教員 松原 三郎

『予言』

林 巧著 つのだじろう作 (角川ホラー文庫)

この本はホラーの物語です。一度映画化になりました。ある家族のことについて書かれています。ある1枚の新聞が毎日届き、未来のことが書いてあります。それを見ると寿命が縮んでしまうのです。その新聞には母が死んでいると書かれていました。男がその未来を変えようとすると…。

1年4組 岩瀬 大佑

『ナルニア国ものがたり 全七冊』

C.S.ルイス著 瀬田貞二訳 (岩波書店)

「ナルニア国ものがたり」は、その1冊1冊がどれを読んでも、1つのまとまったおもしろい本になっているばかりでなく、全部の7冊を通してみても、全体でまた、1つのまとまりのある大きな物語になっています。どれを読んでも、文句なしの、長編空想物語・大ファンタジーです！

2年C組 西村 彩

『誕生・性・遺伝子 人間とは何か』

宗川吉汪著 (新日本出版社)

中絶・エイズなど現代社会にはいろいろな社会問題があるが、本書では現代社会で議論になっている人間にかかわるテーマを取り上げ生物学的側面から解説を行っている。まず、客観的事実はどうなっているかをよく知った上で人はどうあるべきか考えるためにも、本書のような知識は必要ではないでしょうか。

電気情報工学科教員 鹿間 共一

『クビキリサイクル』

西尾維新著 (講談社ノベルズ)

絶海の孤島に棲む財閥令嬢が5人の天才を招待する。マザーボードすら自作する工学の天才、自分の死ぬ日時と、それまでに起こる全世界の事を知ってしまった古い師など、強烈な個性の面々の中、密室、首なしの殺人事件が起こる。戯言遣いは無事解決できるのか。西尾維新戯言シリーズ第一弾。

3年M組 井上 真吾

新

着

図

書

か

ら

◆図書館に新しく入れた本



『Vフォー・ヴェンデッタ』

(竹書房)

先日公開された映画の文庫版。映画マトリックスの監督、ウオシャウスキー兄弟脚本の作品。11月5日は忘れてはいけない日だった。外出禁止令の出てるイギリスで深夜23時に出かけたイヴィー。ところが自警団に見つかってしまう。そこへ怪しげな仮面を被った男が現れ、イヴィーを助けてくれる。彼は自分を“V”と名乗った。イヴィーはVに連れられ、屋上へ行く。そこで彼女が目にしたものは、綺麗な音楽とともに、ある建物が破壊される光景だった。一体Vとは何者なのか？何の為に破壊したのか…。

5年E組 村河 智子



『ワボットのほん5役に立つロボットの作り方』

尾崎俊雄、菅野重樹、藪野健著 (中央公論社)

「ワボット」とは、早稲田大学の研究者たちが開発した一連の人型ロボットたちの総称です。この本は、二足歩行ロボットの基礎を築いた老舗研究室の研究者たちが、ロボットに対する思いを記した絵本集の1冊です。日本語・英語・挿絵で構成された面白い本です。

制御情報工学科教員 平岡 延章

『犬と鬼』

アレックス・カー著 (講談社)

厳しくも妥当な日本批評。古きよき日本を愛する米人の著者は日本語で書いた。外国語を学ぶ意味、そして何より、将来やるべきことのヒントを示してくれる。新しさを追求するだけの独創性から、もとにもどす、保存するという方向で活かせる独創性。文化も技術も環境も。単なるノスタルジアではない。

一般教科教員 市川 緑



『陽気なギャングが地球を回す』

伊坂幸太郎著 (祥伝社)

題名通り愉快的な銀行強盗達が主人公。今回の仕事は順調だった今までとは違って仲間の一人の様子がどこか変だった…。登場人物がそれぞれ個性的で、セリフがとにかくおもしろい。随所に謎解きのヒントがちりばめられていて楽しい。こんなおもしろい本、読まずに死ぬるか。

3年C組 森澤 海里



『ニンギョウがニンギョウ』

西尾維新著 (講談社)

『映画を見なくてはならぬ。十七番目の妹のために』がコピー。夢が空想を、そのまま文章に起こしたかのような、不可思議な小説。

一度読み始めれば、この物語に魅了されるのは必至。小説好きの方々。是非とも一読ください。勿論、未読の維新好きも。是が非でも。

2年E組 矢野 正人



『21世紀の海洋土木技術』

日本海洋開発建設協会・海洋工事技術委員会著 (山海堂)

わが国は、世界の国々での国土面積で60番目ですが、排他的経済水域や海岸線の総延長等で比較すると海洋大国になる。そこで、新たな海洋時代を迎えて、人々の生活を安全で美しい国土を守るために「21世紀の求められる海洋土木技術は何なのか」を紹介し、若者達へメッセージされた本。

建設環境工学科教員 松原 三郎

『東京奇譚集』

村上春樹著 (新潮社)

「かたちのあるものと、かたちのないものと、どちらかを選ばなくちゃならないとしたら、かたちのないものを選び。」自分が何によって生かされているのかに鈍感な我々にとって、貴重な短編集。奇譚(きたん・世にも珍しい物語)はいたるところにあるのに、我々は気づかない。「かたちのないもの」を感じ取る感覚とそれに賭ける勇気とが、現代人に必要とされているのでは？

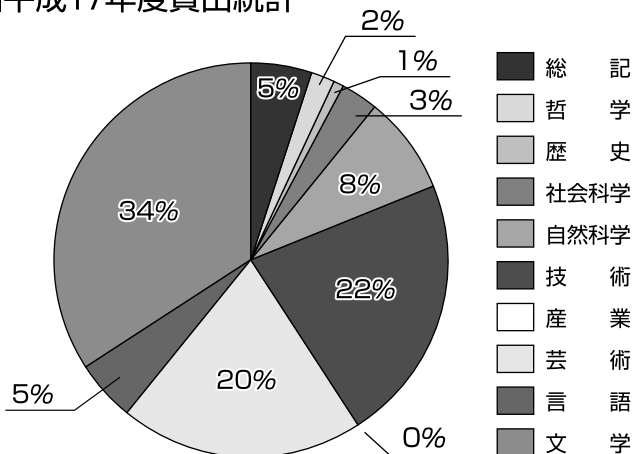
一般教科教員 長谷川 隆

から



図書館から

■平成17年度貸出統計



■学科別図書貸出冊数(1年生を除く)

分類	M	E	S	C	計
0. 総記	33	189	185	43	450
1. 哲学	16	37	69	68	190
2. 歴史	36	22	23	19	100
3. 社会	43	142	47	71	303
4. 自然	103	365	167	137	772
5. 技術	430	536	706	440	2,112
6. 産業	4	9	279	6	298
7. 芸術	65	430	376	439	1,310
8. 言語	44	260	106	101	511
9. 文学	596	476	768	621	2,461
計	1,370	2,466	2,726	1,945	8,507

■利用者別貸出数

	図書	消耗図書	C D	雑誌	合計
学 生	8,743	120	1,294	67	10,224
専攻科生	1,445	138	106	10	1,699
教 職 員	865	12	75	62	1,014
学 外	94	12	12	12	130
合 計	11,147	282	1,487	151	13,067

■開館日数

曜 日	日 数
平 日	239
土曜日	35
日曜日	5
計	279

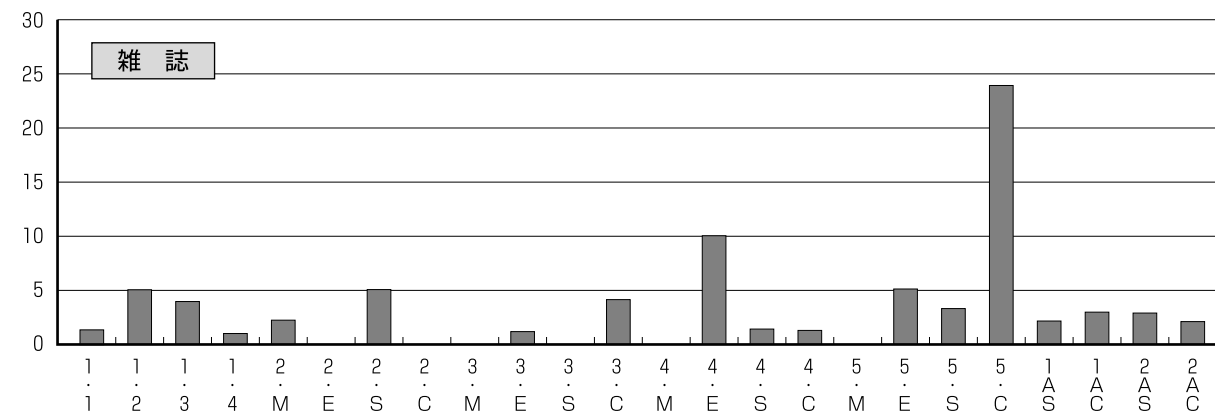
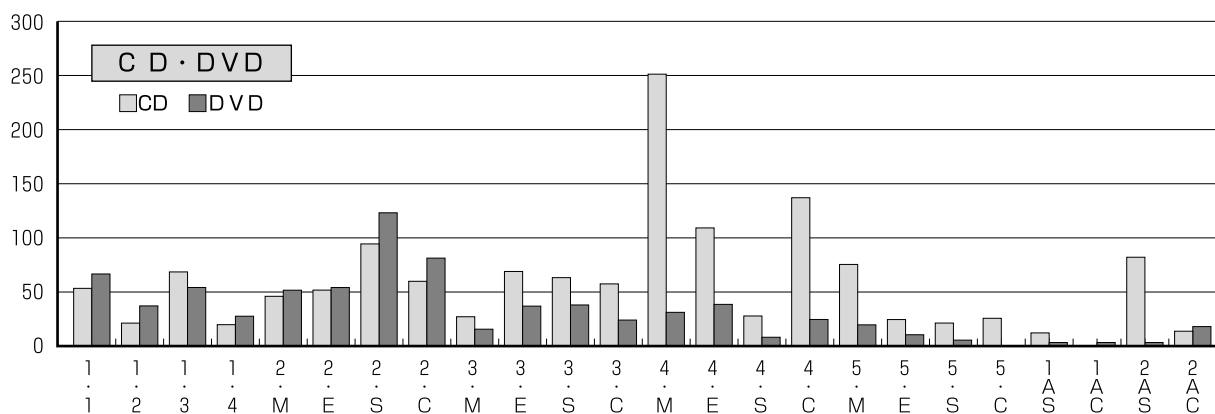
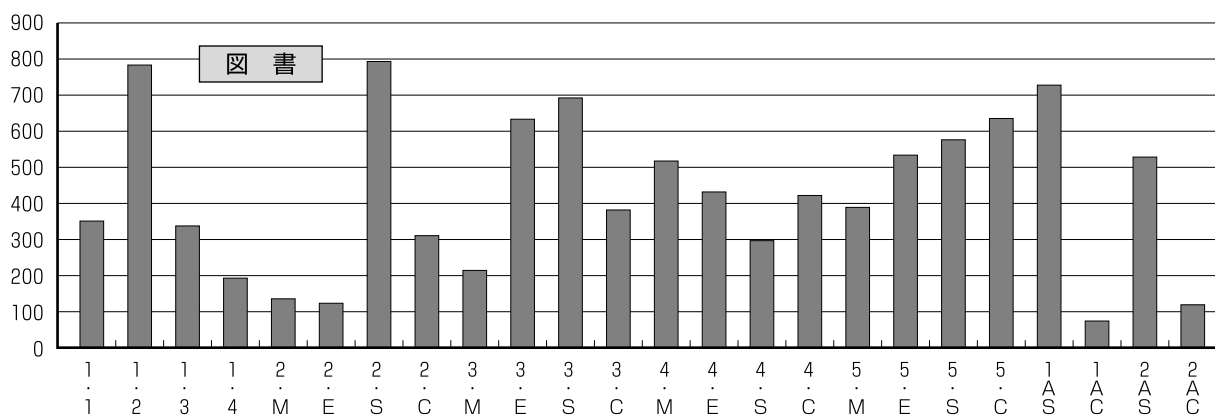
■学生貸出冊数

	平成17年度	平成16年度	平成15年度
学生貸出総冊数	11,923	9,188	8,691
学生1人当たり貸出冊数	13.7	10.6	10.2

■時間別利用者数

時 間 内		時 間 外				計	
日 数	人 数	平 日		休 日		日 数	人 数
		日 数	人 数	日 数	人 数		
239	34,934	182	6,282	40	1,962	279	43,178
1日平均	146.2	34.5		49.1		154.8	

■平成17年度クラス別貸出数



■平成17年度分類別図書購入調

分類	洋書		和書		分類	内閲覧室			
	冊数	金額	冊数	金額		洋書		和書	
						冊数	金額	冊数	金額
0(総記)	1	15,403	79	294,462	0(総記)	0	0	39	106,183
内情報科学	1	15,403	59	171,195	内情報科学	0	0	30	89,411
1(哲学)	0	0	49	87,644	1(哲学)	0	0	47	77,890
2(歴史)	1	4,389	31	83,931	2(歴史)	1	4,389	27	59,509
3(社会科学)	0	0	67	136,035	3(社会科学)	0	0	54	93,407
4(自然科学)	14	138,912	191	814,611	4(自然科学)	4	21,872	121	402,651
5(技術・工学)	2	22,124	296	1,187,698	5(技術・工学)	1	3,325	230	907,122
6(産業)	0	0	12	19,264	6(産業)	0	0	11	17,764
7(芸術)	0	0	57	90,056	7(芸術)	0	0	51	78,842
8(言語)	2	10,141	30	46,501	8(言語)	1	3,222	29	40,264
9(文学)	0	0	317	383,891	9(文学)	0	0	313	372,268
計	20	190,969	1,129	3,144,093	計	7	32,808	922	2,155,900

■平成17年度和雑誌

分類	種類	金額	内閲覧室	
			種類	金額
0(総記)	14	151,904	10	80,744
内情報科学	2	100,281	3	29,121
1(哲学)	1	3,000	0	0
2(歴史)	2	11,593	0	0
3(社会科学)	11	183,140	2	8,888
4(自然科学)	12	274,947	4	51,992
5(技術・工学)	31	429,509	6	40,982
6(産業)	1	11,969	1	11,969
7(芸術)	10	102,548	1	18,280
8(言語)	4	47,075	1	14,201
9(文学)	2	31,604	0	0
計	88	1,247,289	25	227,056

■平成17年度外国雑誌

分類	種類	金額	内閲覧室	
			種類	金額
0(総記)	2	49,514	1	35,616
内情報科学	0	0	0	0
1(哲学)	0	0	0	0
2(歴史)	0	0	0	0
3(社会科学)	1	77,154	0	0
4(自然科学)	2	29,179	1	6,325
5(技術・工学)	5	329,928	0	0
6(産業)	0	0	0	0
7(芸術)	1	8,158	1	8,158
8(言語)	0	0	0	0
9(文学)	0	0	0	0
計	11	493,933	3	50,099

■平成18年度第1回ブックハンティング本紹介

分類	書名	著者等	分類	書名	著者等
002.7	【図解】百戦百勝のメモ術・ノート術	本田 尚也	913.6	砂漠	伊坂 幸太郎
019	本がいままで10倍速く読める法	栗田 昌裕	913.6	眠れぬ真珠	石田 衣良
140.4	怖いくらい当たる「心理テスト」	渋谷 昌三	913.6	空は、今日も、青いか?	石田 衣良
141.93	言いたいことが言えない人	加藤 諦三	913.6	40	石田 衣良
146.1	ユング	齋藤 孝	913.6	DCPC〜ダ・カーポ〜プラスコミュニケーション	岡崎 いずみ
147.1	召喚師	不動館 他	913.6	図書館戦争	有川 浩
156	武士道	岸 祐二	913.6	ある愛の詩	新堂 冬樹
159	心が軽くなる50のメッセージ	菅野 泰蔵	913.6	ストロベリーナイト	誉田 哲也
159	上品な人、下品な人	山崎 武也	913.6	流れ星が消えないうちに	橋本 紡
164	「世界の神々」がよくわかる本	造事務所	913.6	ファウスト SIDE-A・B	奈須 きのこ 他
191.5	天使	真野 隆也	913.6	Canvas2〜虹色のスケッチ〜before red	FC01
204	世界史の謎がおもしろいほどわかる本	「歴史ミステリー」倶楽部	913.6	終わりのクロニクル 6上・7	川上 稔
209	物語世界史への旅	大江 一道	913.6	龍宮	川上 弘美
219.9	ざわざわの沖縄戦	田村 洋三	913.6	図書室の海	恩田 陸
289.1	隼戦闘隊長加藤建夫	松 与平	913.6	球形の季節	恩田 陸
290	大発見! あなたの知らない世界地図	辻原 康夫	913.6	涼宮ハルヒの動揺	谷川 流
290.4	バカ世界地図	一刀	913.6	涼宮ハルヒの暴走	谷川 流
293.9	ピサンティン・ロシア思索の旅	川又 一英	913.6	涼宮ハルヒの憤慨	谷川 流
312.1	政治の数学	伊藤 惇夫	913.6	吉永さん家のガーゴイル1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	田口仙堂
421.2	みるみる理解できる相対性理論	佐藤 勝彦監修	913.6	夏月の海に囁く呪文	雨宮 諒
498.36	誰にでもできる短く深く眠る法	藤本 憲幸	913.6	八月は一夜限りの心霊探偵	霧舎 巧
501.8	やさしく学ぶJw_cad5	Obra Club	913.6	九月は謎×謎修学旅行で暗号解読	霧舎 巧
548.2	目的別自作パソコンパーフェクトマニュアル	福多 利夫	913.6	ヒトクイマジカル	西尾 維新
590.4	イギリス式時給900円から始める暮らし	井形 慶子	913.6	ニンギョウがニンギョウ	西尾 維新
595.6	心理学の先生が教える「読む」だけダイエット	市村 操一	913.6	零崎双識の人間試験	西尾 維新
595.6	みるみる脚からヤせてきた	山田 陽子	913.6	灼眼のシャナ0・1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・S	高橋 弥七郎
645.6	イヌの本音	武内 ゆかり監修	913.6	伝説の勇者の伝説6・7・8・9・10	鏡 貴也
645.6	イヌの心理	武内 ゆかり監修	913.6	イリヤの空、UFOの夏 1・2・3・4	秋山 瑞人
726.1	「のび太」という生きかた	横山 泰行	914.6	LIFE BOOK	広瀬 裕子
795	中盤攻防の手筋	加藤 正夫解説	915.6	とるこ日記	定金 伸治
798	脳がぐんぐん若返る! 脳トレーニング	篠原 菊紀	916	特攻基地の少年兵	千坂 精一
809.2	愛される話し方塾	松田 綾子	929.13	ルーンの子供たち 1・2・3	ジョン・ミンヒ
834	もえたん	もえたん制作委員会	933	リンドキストの箱舟	アン・ハラム
834	もえたん サブリーダー	もえたん制作委員会	933	ガンズリンガー	スティーブ・キング
834	Moetan II 上・下	もえたん制作委員会	933	幸運の25セント硬貨	スティーブ・キング
901.3	沖方式ストーリー創作塾	沖方丁	933	第四解剖室	スティーブ・キング
904	もう一度読みたかった本	柳田 邦男	933	ドリームキャッチャー 1・2・3・4	スティーブ・キング
913.6	Gosick s II	桜庭 一樹	933	チョコレート・アンダーグラウンド	アレックス・シアラー
913.6	Zoo 1・2	乙 一	933	深夜プラス1	ギャビン・ライアル
913.6	銃とチョコレート	乙 一	933.7	トラヴェラー	ジョン・トゥエルヴ・ホークス
913.6	ブレイブ・ストーリー 上 中 下	宮部 みゆき	933.7	犬は動定に入れません	コニー・ウィリス
913.6	陽気なギャングの日常と襲撃	伊坂 幸太郎	966	海を飛ぶ夢	ラモン・サンペドロ
913.6	終末のフル	伊坂 幸太郎			

— 平成18年度 委員紹介 —

図書館運営委員

館長	長谷川
一般	高橋
機械	小島
電気情報	樋口
制御情報	正箱
建設環境	松原
専攻科	竹下
事務部	米山

図書委員 (学生)

	1組	2組	3組	4組
1年	田中 翔也	三井 翔悟	藤原 達弥	岩瀬 大佑
	M	E	S	C
2年	双田 慎二	矢野 正人	瀧井 宏起	西村 彩
3年	井上 真吾	秋山 拓也	○杉浦 孝典	森澤 海里
4年	山本 佑季	◎大西 裕司	松元 俊明	田中 康広
5年	島村 豪敏	村河 智子	徳田 大輔	大前 貴紀

◎委員長 ○副委員長

返却用ポストのお知らせ

このたび新しく図書館1階の南側出入口に「図書返却ポスト」を設置しました。図書館2階自動ドア横の「図書返却ポスト」も今までどおり使えますので、閉館時等利用してください。

なお、CDやビデオは壊れやすいので、カウンターで返却してください。

夏休みの開館時間等について

夏休みの開館時間等は、下記のとおりです。蔵書点検を実施のため皆様にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願いたします。

7月14日(金)～7月25日(火) 平日 9:00～17:00
土日 終日閉館

7月26日(火)～8月21日(月) 終日閉館

8月22日(火)～8月31日(木) 平日 9:00～17:00
土日 終日閉館

9月1日(金)～ 平常通り 9:00～20:00

夏季休業中の長期貸出について

夏季休業中は下記のとおり、貸出冊数と貸出期間を大幅に増やしています。1000頁読破に挑戦してみませんか。読書好きの学生が多くなることを期待しています。

貸出期間：7月10日(月)～

返却期限：9月5日(火)

貸出冊数：20冊まで貸出OK

編集後記

「図書館だより」第38号をお届けします。サッカーワールドカップで日本は決勝トーナメントに進出できませんでした。世界の中で日本は、読解力の点でも上位から遠ざかっているようです。国語力(語学)は読書量です。図書館はこの夏休みに恒例の長期貸出を行っています。

(図書館長)

